

令和 8 年 1 月吉日

関係者各位

北海道難病診療連携拠点病院
国立病院機構北海道医療センター
難病診療センター長 新野 正明

北海道難病医療提供体制整備事業
令和 7 年度 神経筋疾患分野ネットワーク Web 研修会のご案内
『遠くにいる主治医と地域支援者の連携』
～円滑な患者支援に向けて～

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、北海道難病医療提供体制整備事業にご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

この度、事業の一環として「遠くにいる主治医と地域支援者の連携」をテーマに Web 研修会を開催いたします。ご多忙とは存じますが、是非ご参加いただきたくご案内申し上げます。

つきましては、別紙 QR コード、申込 URL より事前申し込みをお願い致します。

また、本研修会は、お申し込みを頂いた方へ後日オンデマンド配信(YouTube 限定配信)をいたします。当日視聴がかなわない方も是非お申し込みいただけますと幸甚です。

敬具

記

北海道の非都市部において神経内科専門医の診療を受けるためには、大学からの出張医や遠方の基幹病院への受診が必要となる場合が多く、支援者は「遠くにいる主治医」と連携を図っていくことが必要になります。そして、疾患の進行に伴い在宅調整や意思決定が必要となる神経難病患者様への支援では、主治医と地域支援者の「連携」は特に重要です。

しかしながら、この「連携」に苦手意識を持つ支援者の方も多いのではないでしょうか。肝心の主治医の見解がわからない、在宅で困っていることが伝わらない、連携方法がわからない etc…。

そこで今回は、【出張医の立場】、そして【遠方の患者を引き受ける基幹病院医師の立場】から地域支援者との「連携」をキーワードにお話しをいただきます。医師の診療の現状、治療や意思決定支援における医師にとっての難しさ・苦手なことなどを知ることで、日頃の「連携」に関するモヤモヤ・困りごとが少しでも改善できると幸いです。この機会に主治医との望ましい連携の在り方・取り方について一緒に考えていきましょう。

『遠くにいる主治医と地域支援者の連携～円滑な患者支援に向けて～』

1. 開催日時 令和 8 年 2 月 10 日 (火) 18 時 00 分～19 時 30 分
2. プログラム 別紙参照
3. 対象者 医療関係者、保健行政機関、難病支援者 等
4. 開催方法 Zoom ウェビナー * 後日オンデマンド配信(YouTube 限定配信)あり
5. 参加費 無料

連絡先 札幌市西区山の手 5 条 7 丁目 1-1
国立病院機構北海道医療センター
難病診療センター 難病医療相談室
難病診療連携コーディネーター 坂野 恵子
TEL・FAX：011-611-5066